

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

病害虫防除情報第3号

斑点米カメムシ及びトビイロウンカの発生状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

1. 作物名 普通期水稻
2. 病害虫名 斑点米カメムシ類、トビイロウンカ
3. 発生状況

(1) 斑点米カメムシ類

8月中旬の巡回調査における斑点米カメムシ類の発生面積率14.3%(平成10.9%)は平成よりやや多。20回振りすくい取り虫数0.17頭(平成0.3頭)は平成並である。

予察灯への誘殺状況は、国富町でミナミアオカメムシが8月2~3半旬に、また都城市でクモヘリカメムシが7月5半旬から8月2半旬に、各々平成に比較して多数誘殺された。

(裏面「17年度予察灯におけるミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ誘殺状況(7月~8月 第3半旬)」参照)

(2) トビイロウンカ

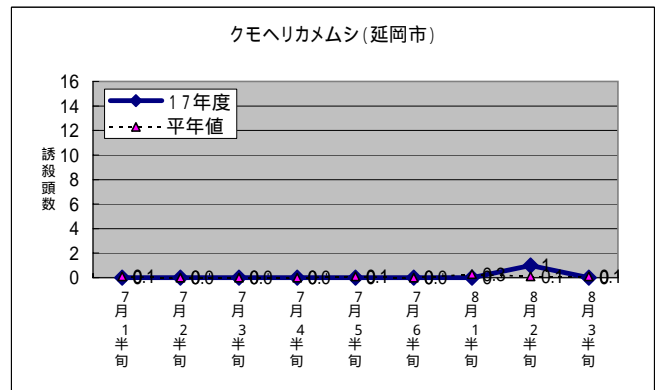
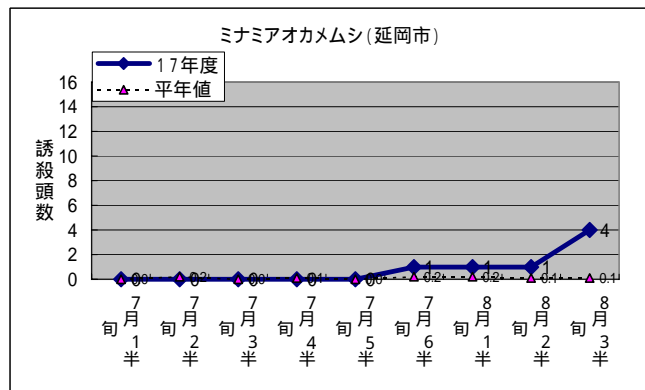
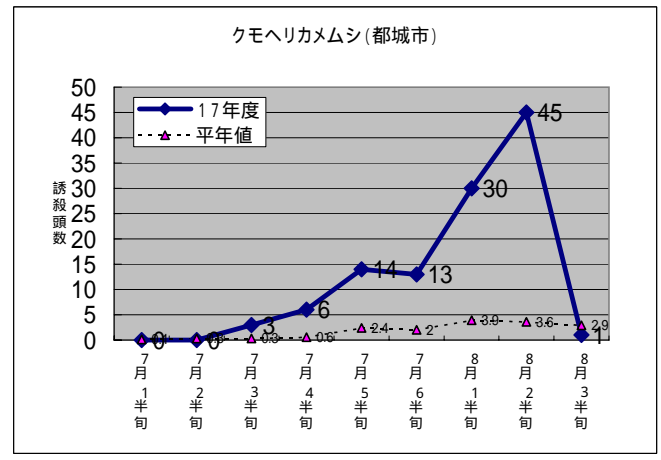
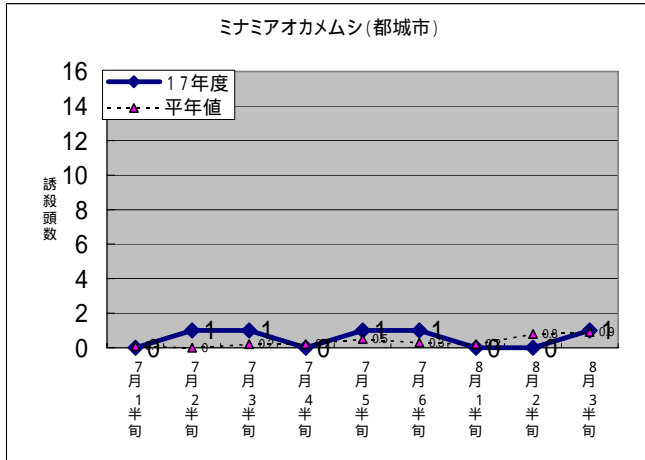
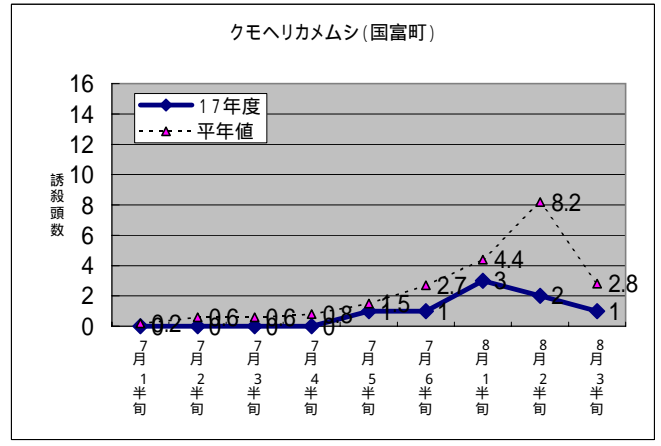
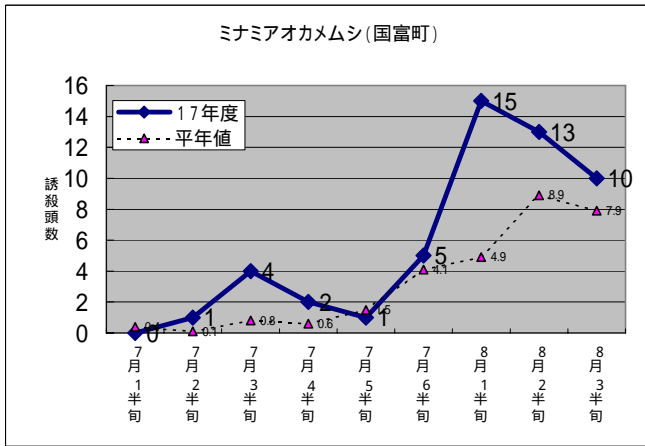
8月中旬の巡回調査におけるトビイロウンカの発生面積率は9.5%(平成値10.9%)で平成並の発生であるが、20回振りすくい取り虫数0.26頭(平成値0.10頭)10株当たり虫数0.4頭(平成値0.2頭)は平成よりやや多の発生である。

4 防除対策

- (1) 斑点米カメムシ類の防除については、穂ぞろい期と7~10日後の防除の徹底を行うこと。防除は広域の集団一斉防除、畦畔、水田周辺の雑草地等含めた防除が効果的である。
- (2) トビイロウンカによる坪枯れ発生は通常、9月中から下旬であり、地域の発生状況に注意し発生が多い場合は、防除を実施する。
- (3) 防除薬剤等その他の詳細については、宮崎県病害虫防除・肥料検査センター、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。
また、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努める。

連絡先 宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 専門技師 加藤洋亮 : 0985-73-6670 Fax: 0985-73-7499 E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

17年度予察灯におけるミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ誘殺状況(7月～8月第3半旬)



予察灯7月～8月まとめ

	半旬	7月1半旬	7月2半旬	7月3半旬	7月4半旬	7月5半旬	7月6半旬	8月1半旬	8月2半旬	8月3半旬
		17年度	平年値	17年度	平年値	17年度	平年値	17年度	平年値	17年度
国富町	ミナミアオカメムシ	0	1	4	2	1	5	15	13	10
	平年値	0.4	0.1	0.8	0.6	1.5	4.1	4.9	8.9	7.9
都城市	ミナミアオカメムシ	0	1	1	0	1	1	0	0	1
	平年値	0.1	0	0.2	0.2	0.5	0.3	0.2	0.8	0.9
延岡市	ミナミアオカメムシ	0	0	0	0	0	1	1	1	4
	平年値	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1
国富町	クモヘリカメムシ	0	0	0	0	1	1	3	2	1
	平年値	0.2	0.6	0.6	0.8	1.5	2.7	4.4	8.2	2.8
都城市	クモヘリカメムシ	0	0	3	6	14	13	30	45	1
	平年値	0.1	0.3	0.3	0.6	2.4	2	3.9	3.6	2.9
延岡市	クモヘリカメムシ	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1